

I 患者にとって最適な医療の提供

3. 断らない救急の実現

| 中期計画 | | | |
|--|----------|-----|--|
| (1)受入体制の構築 (2)人材の確保、養成 (3)院内後方支援・連携体制の整備 | | | |
| 評価指標 | | | |
| | 項目 | H26 | H28 |
| 中期目標 | 救急搬送受入率 | 指標 | 100%に近づく 総合 88% 西和 75% |
| | | 実績 | 総合 82.1% 西和 66.9% |
| | 項目 | H26 | H28 |
| 中期計画 | 時間外救急患者数 | 指標 | 目標値 総合 7,500人 西和 6,350人 総合 6,000人 西和 6,200人 |
| | | 実績 | 総合 5,767人 西和 5,376人 |
| 共通項目 | | | |

| 総合医療センター | | | |
|--|-------|---------|-------|
| 項目 | H26 | H27(見込) | H28 |
| 救急受入れ件数/件 | 2,766 | 3,127 | 3,300 |
| 時間外救急患者数(救急車搬送)/人 | 1,836 | 2,028 | 2,500 |
| 時間外救急患者数(ウォークイン)/人 | 3,935 | 3,282 | 3,500 |
| 救命救急センター(病棟別)病床利用率/% | 68.2 | 71.3 | 80 |
| <p>(1)・ERと救命センター(3次)の機能を統合臨機応変に患者の搬送依頼に必需 ・救急患者受入に対応する医師、救急認定看護師の確保によるER体制の確立 ・母体・産褥搬送の受入率100%の達成 ・産科医師の当直勤務体制から振替勤務体制への移行 ・外傷患者の受入れ増加に対応する手術内容のさらなる充実 ・緊急対応を含め、外科治療を要する患者に対する手術体制を構築</p> <p>(2)・緊急症例に対応出来る臨床工学技士の育成と体制づくり ・手術室業務担当の臨床工学技士、薬剤師の充実と、常駐化の推進 ・救急医療の人材確保のために、新専門医制度の基幹施設として、専攻医教育システムを確立 (内科、救急科、産科)</p> <p>(3)・緊急入院後の病棟、ベッドコントロール体制の効率化 ・患者支援センター(入退院支援)と各病棟の連携による、ベッドコントロール・退院支援の早期介入の実施</p> | | | |
| 西和医療センター | | | |
| <p>(1)・H27年度設置の救急科を中心とする受入体制の確立 ・血管撮影室の増設 ・脳卒中の24時間早期治療体制の充実 ・ER病床の充実及び効率的運用 ・各診療科別病床数の見直しと病床再編 ・在宅医療後方支援登録患者の100%受入 ・集中治療部門、救急外来、総合管理的システムの構築を検討 ・循環器病研究センター、カテーテル治療部門の機能的運用システムの検討</p> <p>(2)・若手の救急専門医の育成 ・救急・集中ケア等の専門・認定看護師の計画的育成を検討</p> | | | |
| 総合リハビリテーションセンター | | | |
| <p>(1)・骨折などの救急患者の受入れを拡大 (3)・地域医療機関との連携</p> | | | |